

～保育士が働きやすい職場づくりに向けた取り組み 好実践事例～

★CASE 18★

島根県社会福祉協議会 島根県福祉人材センター

吉賀町双葉保育所（吉賀町）

【保育園DATA】

- 所在地：鹿足郡吉賀町樋口631番地
- 法人名：社会福祉法人吉賀町双葉保育所
- 定員：60名
※令和2年1月29日時点で
在籍数66名

○職員構成（保育士）

- ・主任保育士 1名
- ・正規職員 5名
- ・嘱託職員 7名
- ・非常勤職員 5名
- ・その他職員 6名
(事務職・看護師・調理員・保育補助他)



○ 朋澤公香 所長が大切にしていること

持ち味 いい色 双葉色

職員一人一人の持ち味が発揮できる職場づくり

☆ 朋澤 公香 所長略歴 ☆

- ・小学校教諭を経て、平成6年調理師として双葉保育所に勤務し、平成12年より副所長に就任。
- ・平成30年4月より所長に就任し現在に至る。

保育士がいまいきと働ける環境を整備するために

○ 職員一人一人の持ち味が発揮できる職場づくり

職員が職場で気持ちよく過ごすためには、職員一人一人の持ち味が十分発揮できる職場であることが大切だと思っています。保育所が子ども達を保育するのではなく、職員が保育を行うのであって、保育所が目指す幼児像に基づき行う保育のなかでも、職員がそれぞれの考えや思いを持ち、一人一人がしっかりと自分の色を出してくれることで、それが敷衍して双葉保育所らしい楽しい色合いになっていくと思います。

初代所長から「保育所はその子が好きなことを探す所」と教わりました。子ども達と共に過ごす職員も自分の好きな事や楽しいと思うことを持ち味にしてその楽しさを伝え共有し、自身の個性も子ども達の個性も大切に伸ばしていけるような保育所でありたいと思います。

○ 多様な働き方の中でのかけがえのないひとり

保育所では正規・嘱託・パートと多様な働き方があり、基本的には正規がクラス担任となり中心となってクラスを運営していますが、担任や常勤などの形態にとらわれず、それぞれの職員が自身の存在や役割を意識して働くことができるように勤務シフトでその日に担当する役割を示し見える化しています。

また、職員の『個』を大切にする職場づくりを意識しています。それぞれの職員に大切な家庭があります。子どもの体調不良や行事、家族の介護など、その職員にとって今必要なことや時間を大切にしてほしいので「必要な時に休みやすい職場」になるように努めています。

取り組み紹介① 「 職員の持ち味を活かした保育 」

「職員の持ち味を活かした取り組み」の一部を紹介します。

- 音楽の日：月に1度本物の楽器を体感するミニコンサートを開いています。ピアノが得意な職員が奏でるクラシック曲の鑑賞や、職員のピアノや楽器演奏に子ども達が鍵盤ハーモニカ等でコーポレーションしたり、ピアノ伴奏に合わせてみんなで季節の歌を合唱しています。演奏する楽曲の作曲家を子ども達に紹介するなど工夫を凝らしながら、子ども・職員・保護者みんなで楽しく取り組んでいます。
- YTH教室：『(Y) ゆか先生の(T) 楽しい(H) ひらがな教室』は、小学校入学を控えた年長児に、担任以外の人のお話を聞くシチュエーションや落ち着いて学習する姿勢を体感する機会として、お昼寝をしなくなった時間を活用し、小学校教諭の経験がある担任以外の職員が、その経験を活かして「ひらがな」などを楽しく教えています。子ども達がワクワクするようネーミングなど遊び心も大事にしながら、この他にも折り紙や習字など各職員の様々な得意分野を保育に活かしています。

取り組み紹介② 「 思いやりと工夫で効率的な情報共有 」

職員会議は、子ども達の午睡時間にクラス担任を持つ職員が集まり月に2回程度行っています。前もって日程や議題を共有しておくことで、スムーズな進行を目指します。職員会議で決まったことはクラス担任がクラスミーティングを開いて他職員に情報共有しています。

また、交替制や非常勤など多様な働き方がある職場で「みんな知っているのに知らなかった」と疎外感を感じる職員がでないように、情報共有したいことは名簿とチェック表をつけた回覧を用いて日々全職員に漏れなく伝わるように工夫しています。

取り組み紹介③ 「 コミュニケーションを深める機会を大切に 」

毎年職員が交替で幹事を務め個性やアイデアを活かしながら企画実施して食事会や職員旅行などの親睦会を行っているほか、生活発表会の後に職員全員で食事をとりながら、発表会や年度前半を振り返る機会を設けています。職員同士の親睦やコミュニケーションを深めるとともに、職員それぞれの様々な思いや個性、得意分野を知ることにもつながっています。

☆職員の声☆



山口 優香 先生

- ・保育士歴：5年
(みなし：幼・小教諭)
- ・2歳児を担当

小学校教諭を経て結婚を機に吉賀町に移住し、縁あって双葉保育所での勤務がスタートしました。初めは小学校と保育所の違いに戸惑いや不安もありましたが、これまでの経験を活かせるような配置や工夫をいただいたり、保育や自身の子育てにおいても相談や様々なサポートを受けながら、スムーズに働くことができています。

子ども達が笑顔で過ごすためにはどうしたらよいかを考え、先生方や保護者の方と信頼関係を結びながら、そのために取り組んでいくことが、保育する上での課題でもあり目標となっています。



植田 由紀子 先生

- ・保育士歴：19年
- ・4歳児を担当

吉賀町で生まれ育ち、県外の短期大学保育士養成課程を卒業後、出身園である双葉保育所に就職しました。4歳・2歳の自身の子どもも同じ保育所に通っています。私がお世話になった先生方に我が子もご縁を頂いていると思うと、とても有難く、嬉しくなります。日々行う保育の中では、子ども達が楽しいと思えることや好きなことを増やしていきたいと思っています。また、子ども達の成長の上では、静と動の区別がつけられる、そして友達とのやりとりなど集団生活の中だからこそ学べることも大切しながら保育に取り組んでいます。



「こいのぼりフェス」
モリモリ！！

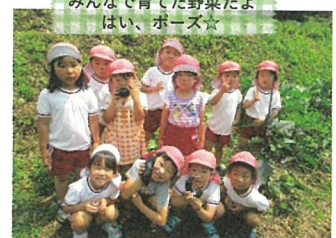


♪ 保育っていいな



キウイの棚で～月

♪ ～日々の1コマより～



みんなで育てた野菜だよ
はい、ポーズ☆